



ロータリー：
変化をもたらす

2017～2018 年度国際ロータリーのテーマ

ロータリー：変化をもたらす

●会長 白木 誠一
●幹事 古田 哲朗

No.1593 平成 29 年 11 月 22 日 第 20 回例会

※例会日 毎週水曜日 12:30～ <http://www.serc2720.org> email:serc@serc2720.org

※例会場 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内

※事務所 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内 TEL 354-4521 FAX 354-4053

■点鐘

■国歌斉唱

■ロータリーソング「手に手つないで」

■会長の時間 (会長エレクト 白石繁)

(白石繁会長エレクト代読)

マンションの修繕積立金

最近マンションの老朽化時代に入り大規模修繕工事が急増しています。それに向けて悪質な設計コンサルタントが巧妙で法外な工事代を請求するのが大変多くなってきました。分譲マンションでは数十年に一度大規模修繕工事が行われます。工事の内容は外壁補修、防水対策、塗装などです。住宅（管理組合）はどんな工事内容が必要かわからないものです。そこで、設計コンサルタントと契約して、そこを窓口として見積もりを作成して、幾つかの建築会社の見積もりを取って決めるやり方ですが、設計コンサルタントを決めるときに安い値段で入り込み、工事会社の予想見積もりを大幅に金額を上げた見積もりを入札建築会社に出させるしくみです。工事金額を不適切に吊り上げるやり方です。設計コンサルタント会社と建築会社はほとんど全部繋がっており、他の工事ともからみ、建築会社が手数料を払わなければいけないようになっています。手数料は10%から20%と言われています。例えば工事代金が3億だと3千万から6千万バックを要求。事態を重く見た国土交通省は今年に入って通知を出し注意を呼び掛けている。

■幹事報告 (幹事 古田哲朗)

1) 高山泰四郎 2018～2019年度ガバナー、瀧満 2018～2019年度ロータリー財団部門長より、

RI第2720地区2018～2019年度ロータリー財団部門地区補助金管理セミナー開催の案内。



日時 平成30年1月27日(土) 13:00～16:00

場所 ホルトホール大分 大分市金池南1-5-1
TEL: 095-576-7555

内容 1. 地区補助金の仕組みと具体的な申請方法について
2. グローバル補助金の仕組みと地区の取り組みについて
3. 平和フェローシップの概要について

※セミナーにはクラブより最低1名以上
(1名の場合は会長エレクトに限る)の出席をお願いします。

※当日配布のR財団「クラブの参加資格認定：覚書(MOU)」の署名提出が無いクラブは次年度の地区補助金の受給資格がないと地区補助金基準に記されていますのでくれぐれもご留意ください。

今後の行事

開催日	行事名	場所	会場	出席者
2017年12月2日(土)	職業奉仕第2回セミナー	熊本県熊本市	熊本県民交流館 パレア	佐野茂、宮川義行

■委員会報告

(親睦・スマイル担当委員 横山佳之)

年忘れ・クリスマス家族会 オークションご協力をお願い

※会員1人につき1品以上のご協力をお願いいたします。

■委員会報告

(青少年奉仕担当委員 松本一也)

熊本東南RAC11月第2例会(11月26日)参加のお願い



■出席報告

(出席・プログラム担当委員 岡本千代門)



月日	会員数	出席者数	MU	修正出席者数	出席率 (%)
11月08日	40 (免2) 38	29	1	30	78.95
11月22日	40 (免2) 38	20			52.63

出席免除

11月08日 住江正治 鷲山法雲
11月22日 住江正治 鷲山法雲

欠席者 (8名)

11月08日 島村徹男 堤 勝也 内田敏視
山本浩之 益田敬二郎 山坂哲生
小松野正彦 西村陽介

今度の100%出席の日は 12月20日です。

■スマイル

(親睦・スマイル担当委員 横山佳之)



◎沼田敏雄 5,000円

風邪をひきました。両隣りにうつして帰ります。明日は快適になります！

◎白石 繁 2,000円

今日は会長が和歌山訪問のため代打で会長役を行います。初めての事ですので宜しければオフレコをお願いします。

◎小松野正彦 2,000円



今日は前田日出夫さんの代理でSAAをさせていただきます。初めてで迷惑おかけしますが宜しくお願いします。

◎横山佳之 2,000円

今日は所用のため早退しますので、お詫びのスマイルです。

◎福井 学 1,000円

大分寒くなってきました！会員の皆様、体調管理に気をつけて下さい。

■卓話

(ロータリー財団委員長 福井 学)



施設の高校生通学用自転車寄贈支援 ～準備および実施の流れ～

施設の高校生通学用自転車寄贈支援 ～ 準備および実施の流れ～	
★は地区補助金申請手続きの流れ	
	★1月下旬～1月上旬 地区補助金管理センターに申込(参加したいと補助金申請書を送りたい)
	★1月末～2月 地区(MOU)宛書(交付)を交付(当該年度の会長と会長エシケの署名が必要)
3月	熊本県社会福祉協議会施設福祉課から寄贈対象施設並ぐりに寄贈台数(予定)を教えてもらう。
	★2月末 交付計画書提出
	★4月末 地区補助金の申請
	★地区補助金専用口座開設
12月上旬	熊本県社会福祉協議会会長の許可を得てから、各施設に新高校に通学用自転車購入資金の支援金を贈呈する旨を文書にて連絡する。
1月上旬	各施設に記録の贈呈の際に受け取りの領収書を用意していただくことと自転車購入後に写真の提供をさせていただきお願いの文書を郵送する。
	★1月15日までに 補助金送金依頼書提出(地区から毎月20日に届出)
1月中旬～下旬	熊本県南RC会会員を近分けし、各地のリーダーが担当の施設に連絡を取って訪問、支援金を贈呈する。(贈呈の様子を撮影してくる。)
3月末日迄	各施設より自転車購入後の写真が送られてくる。
	★4月15日までに 事業報告書提出(連絡、写真、領収証を添付)
	完了！
	★2017～2018年度地区補助金金額 280,050円
	クラブ拠出金 619,540円 + 地区補助金 280,050円 = 総事業費 900,000円 (補助金1台あたり15,000円支給 = 60台分) (施設15ヶ所)

DVD上映

(福) 児童養護施設 光明 (ひかり) 童園 [水俣]
おはようサタデー「施設で暮らす子どもたち」
2014年3月22日 NHK総合



社会奉仕担当委員 潮谷愛一



児童養護施設の成り立ちから現在に至るまでについて

●卓話

(米山奨学生 翁力棟君の他クラブでの卓話の様子)

翁力棟 君、各クラブでの卓話お疲れ様でした。

10月 2日 熊本南RC

随行カウンセラー：山田公也 会員、宮川義行 会員

10月24日 熊本西RC

随行カウンセラー：山田公也 会員、宮川義行 会員

11月 7日 本渡RC

随行：土谷壮司 米山記念資金推進委員長（宇城RC）

11月22日 阿蘇RC

随行カウンセラー：前田日出夫 会員、宮川義行 会員



●和歌山東南ロータリークラブ訪問

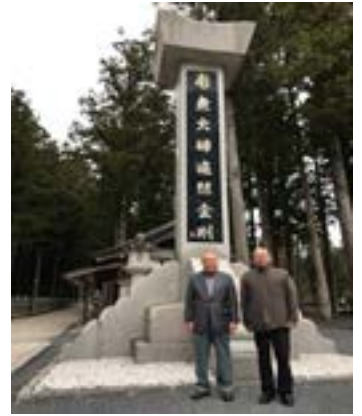
平成29年11月22日（水）～23日（木）

参加者：白木誠一、内田信行、中島祐爾、志賀重人、松本繁、
永野昭一、山田公也

◎ゴルフ組



◎観光組



◎例会の様様



国連でのロータリーデー：平和を現実に行こう

執筆：Geoff Johnson 写真：Monika Lozinska

第1次世界大戦終結99周年を記念し、スイス・ジュネーブの国連事務局で、「ロータリーデー」が開催され、1,200以上が集まりました。

11月11日（土）、87カ国の代表者が元国際連盟のパレ・デ・ナシオンに集結し、イアン H.S. ライズリー RI 会長が以下のテーマを提唱しました。「平和：変化をもたらす (Peace: Making a Difference)」。



6名の「平和の推進者」が表彰された国連でのロータリーデー（11月11日）

「国際理解、親善、そして平和は、兼ねてからのロータリーの第一目標」と話すライズリー氏。

「ロータリーの奉仕活動はすべて平和構築につながることで、そして平和構築のために奉仕を行うことは、私たち皆がすでに認識していることです」

今回、これまでの13年間で初めて、「ロータリーデー」の行事がニューヨーク以外で開催されることとなりました。

ジュネーブ平和週間の最後の日を「ロータリーデー」となり、ロータリーのジョン・ヒューコ事務総長は、「ロータリーと国連の長年にわたる協力関係と、平和と国際理解の追求」を言明しました。

「ロータリー会員は、奉仕を通じて、平和を概念から現実に行うことができると、エド・フタ氏（国連に対するロータリー代表）は述べました。「平和は概念として説くものではなく、実現すべきものです」

イベントのハイライトとして、ジョン・ヒューコ事務総長が、2017年の「世界を変える行動人：平和の推進者」(People of Action: Champion of Peace) を発表し、「組織の活動の範囲・影響力」を称え、「より平和的な、より活力のある社会になるための道しるべ」を記したことを称えました。

選ばれた6人は、以下の通りです。

アレハンドロ・レイエス・ロザノさん（コロンビア、Bogotá Capital ロータリークラブ会員）：ロータリーのグローバル補助金を活用して、中南米6カ国の27名の女性に対し平和構築、紛争解決、仲裁スキルの研修を実施。また、コロンビアのファン・マヌエル・サントス大統領の任命により、コロンビア革命軍との50年にわたる紛争の終結に向けた交渉と条件設定を行うチームの一員となっている。



ジーン・ベストさん（スコットランド、Kirkcudbright ロータリークラブ会員）：争いを解決するスキルを10代の子どもの教え、子どもたちが学校や地元地域で



平和関連の奉仕活動を立ち上げることを目的とした平和プロジェクトを実施。「自分の心に平和がなければ、世界平和を目指すことはできません」



サフィナ・ラーマンさん（バングラデシュ、Dhaka Mahanagar ロータリークラブ会員）：バングラデシュの職場における女性の権利推進に尽力。衣類工場経営者として同国で初めて、女性従業員のための健康保険と産休制度を導入。

「教育は、平和に向けた変化の原動力となります」



アン・フリッシュさん（米国、White Bear Lake ロータリークラブ会員）：非武装の市民が紛争地域の人びとを守る信じ、バンコクおよびタイ南部で平和プロセスの研修プログラムを設立。「持続可能な平和とは、市民による積極的な

参加を必要とします」



キラン・シラーさん（元ロータリー平和フェロー）：米国テネシー州にある International Storytelling Center（国際ストーリーテリングセンター）の所長。同センターは、平和構築のための手段としてストーリーテリングを用いている。「話を伝えるということは本当に重要だと思います」



テイラー・カス・タルボットさん（元ロータリー平和フェロー）：日本の国際基督教大学ロータリー平和センターの卒業生。毎日20トン分のむき出しの衛生廃棄物を扱うごみ収集者のために、SWaCH（ごみ収集者共同組合）と協力して、ゴミ収集者

が衛生廃棄物に直接触れることなく適切に仕分けができるキャンペーンを開始。Live Debris プロジェクトでは、世界レベルで廃棄物の問題に取り組んでいる。

その後、受賞された6人は、持続可能性と平和についてのワークショップや、ロータリーアクト会員などのヤングリーダーのための特別セッションで、平和構築における教育・科学の重要性にスポットライトを当てたワークショップに参加しました。

[世界保健機関 \(WHO\)](#) のポリオ撲滅ディレクターであるマイケル・ザフラン氏は、ポリオ撲滅活動の最新情報を発表。ロータリー、WHO、[ビル&メリンダ・ゲイツ財団](#)、その他パートナー団体による活動により、ポリオ発症数は99%減少し、目覚ましい進歩を遂げています。「ポリオ撲滅を実現するこの国際関係があれば、世界平和を達成できるでしょう」

在ジュネーブ国際機関の日本政府代表部大使代表代理、および世界ポリオ撲滅推進活動の[ポリオパートナーグループ](#)議長である志野光子（しのみつこ）氏も同席しました。

ライズリー会長は基調講演で、次のように述べました。「ポリオ撲滅活動で私たちが学んだことは、多くの人々が一致団結して、問題を理解し、そのプロセスを理解し、リソースを結集し、影響力を強くし、計画を立て、目標を設定すれば、山をも動かすことができること。今こそ、行動を起こし、協力すべきときです」